

## 『糖尿病初期治療の新しい展開』

糖尿病は進行性の疾患であり、長期予後の観点において、より早期からのリスク因子を含めた治療介入が重要である。また、耐糖能異常の段階から既に動脈硬化の進展がおきている。そこで、先進国で唯一耐糖能異常への薬物療法介入が可能になった意義、および糖尿病初期における薬剤選択のポイントについて言及したい。



### 第53回 日本糖尿病学会年次学術集会 ランチョンセミナー40

2010年 5月29日(土) 12:00~12:50

第3会場 ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル

# 糖尿病初期治療の 新しい展開

座  
長

**吉岡 成人** 先生

NTT東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科

演  
者

**河盛 隆造** 先生

順天堂大学大学院

**IGTへの薬物療法介入の意義は？**

演  
者

**岡田 洋右** 先生

産業医科大学 第一内科

**糖尿病早期介入の重要性**  
～血管合併症克服にむけて～

本ランチョンセミナーは予約制でございます。  
予約をお済みの方から優先的にご入場いただけます。詳細は当日ご確認ください。

共催:第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
武田薬品工業株式会社